

企業内の学び・学び直しを促進するためのガイドラインの策定に向けて(案)

企業内の学び・学び直しを促進するための「ガイドライン」の策定に向けて、まずは、事務局において、以下のような点について、把握・整理する。

1. 企業の実態に即した「基本的な考え方」や「労使が取り組むべき事項」の深掘り

ガイドラインに盛り込む「基本的な考え方」や「労使が取り組むべき事項」について、企業の実情に即し、労使が協働した学び・学び直しが促進されるものとなるよう、第30回分科会で紹介した企業ヒアリングに加えて、以下のような点について、企業の実態等をさらに把握・整理する。

- ・ 学び・学び直しの必要性、関係者の役割、プロセス
- ・ 中小企業における好事例や中小企業特有の課題
- ・ その他必要な要素や具体的な内容

2. 企業内におけるキャリアコンサルティングについて

企業内におけるキャリアコンサルティングの実施状況やキャリアコンサルタントの活用実態等について、以下のような点も含めて、把握・整理する。

- ・ 企業内における経営層・現場管理職・人事部門とキャリアコンサルタントとの関わり
- ・ 中小企業におけるキャリアコンサルタントの活用や外部機関との連携

3. 国等の施策の整理

企業内の学び・学び直しの促進に資する国等の支援策(他省庁のものを含む)について、上記1、2において把握した内容を踏まえ、労使の取組の場面に即した形で整理する。